

令和 2 年度 地域貢献活動支援中間報告書

地域イノベーション推進機構長 殿

所 属 生物資源学研究科
氏 名 内迫 貴幸

活動テーマ	三重県の素材生産に占める高付加価値材（S材）の流通調査と林業への還元												
実施期間	令和 2 年 5 月 1 日 ～ 令和 3 年 2 月 12 日												
活動内容	<p>(1) 具体的な活動実施内容 三重県において、高単価・高需要である役物スギ（S材：原木価格 25,000 円/m³以上）の木材生産の実情と流通動向を基に、経済波及効果を検証した。ヒアリングの対象は東紀州の林業、木材産業に関わる事業者（製材所 1 社）、県外製材業者 1 社、県外木材市場 1 社である。</p> <p>評価対象：スギ板材製品 1m² 100 年生スギ 30,000 円/m² 分析方法：平成 27 年（2015 年）三重県産業連関表（188 部門表をもとに林業・木材産業に関係の深い部門を残しその他の部門を統合した独自の 46 部門表）をもとに産業連関分析を実施。板材製品の購入価格（平米単価）を最終需要とした三重県内への経済波及効果を生産誘発額（最終需要額が地域内の他の産業の生産を誘発した金額）で評価。</p> <p>比較対象：地域指定なし板材製品 30,000 円/m²</p> <table border="1" data-bbox="443 1261 1401 1458"> <thead> <tr> <th></th> <th>【評価対象】 三重県産 板材製品</th> <th>【比較対象】 地域指定なし板材製品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原木の産地</td> <td>三重県内</td> <td>県内 9%</td> </tr> <tr> <td>製材・加工地</td> <td>三重県内</td> <td>県内 13%</td> </tr> <tr> <td>消費地</td> <td>三重県内</td> <td>三重県内</td> </tr> </tbody> </table> <p>シナリオ：※比較対象の産地、製材・加工地の県内自給率は三重県産業連関表の移輸入係数に従って指定したものであり、三重県の木材流通の現状を反映している。 ※評価対象は実際には加工の一部を県外で行っているが、本分析では考慮していない。</p> <p>分析結果：評価対象の生産誘発額合計は最終需要額を大きく上回った（倍率にして 1.66）のに対し、比較対象の生産誘発額合計は大きく下回る結果（倍率 0.27）となり、県産材利用製品を選択的に購入することによる県内への経済波及効果の大きさが明らかとなった。また、林業部門、木材産業部門への生産誘発額の差はより顕著であり、林業・木材産業の活性化が県内森林の保全につながるとするならば、評価対象のような流通シナリオの製品の利用拡大は効果的であるといえる。</p>		【評価対象】 三重県産 板材製品	【比較対象】 地域指定なし板材製品	原木の産地	三重県内	県内 9%	製材・加工地	三重県内	県内 13%	消費地	三重県内	三重県内
	【評価対象】 三重県産 板材製品	【比較対象】 地域指定なし板材製品											
原木の産地	三重県内	県内 9%											
製材・加工地	三重県内	県内 13%											
消費地	三重県内	三重県内											

表：三重県産スギ板材製品の購入による県内への経済波及効果

	【評価対象】	【比較対象】
	三重県産 板材製品	地域指定なし板材製品
最終需要額	30,000 円	30,000 円
生産誘発額合計	49,894 円	8,201 円
うち林業部門	6,824 円	896 円
うち木材産業部門	24,134 円	3,170 円

(2) 地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与，広がり）

木材流通の把握と林業への還元の可能性を考えることは大きな意味があり、今後の林業発展・活性化に大きくつながる。これらの試みは、三重県に留まらず近隣県、さらには全国への波及効果も大きく、パイオニア的な試みである。

(3) 共同実施者との連携状況

非常に緊密な連携が取れており、次年度以降もさらに連携を強化していきたい。

(4) 大学の教育・研究成果のかかわり

生物資源学部で学べる森林の持続可能な管理（木材生産・水源涵養・山地災害防止・生活環境保全・保健文化）をベースに、持続可能な森林経営のための資金調達やその可能性についての調査に活かした。

(5) イベント等開催実績（名称，実施場所，参加人数等）

特になし。